

岐阜県職員倫理憲章 現代陶芸美術館実行計画

平成18年7月に発覚した不正資金問題に対する深い反省と再発防止への固い決意とともに、岐阜県職員としての基本理念を示すために平成18年12月28日に制定した「岐阜県職員倫理憲章」の内容を実践していくために、下記のとおり現代陶芸美術館実行計画を定めます。

令和5年4月1日

1 法令を遵守するとともに、自らを厳しく律します。

- ・ 法令に照らして判断・行動し、疑惑や不信を招くことのないよう努めます。
- ・ 不当な圧力や働きかけに左右されることなく、誰にでも公平、公正に対応します。

【取組事項】

- 地方公務員法が定める守秘義務や、情報公開制度、個人情報保護制度の趣旨等を職員に徹底し、情報の適正な管理、取扱に努めます。

2 税の重みを深く認識し、無駄のない行政を進めます。

- ・ 経費の節減を徹底し、最少の経費で最大の効果を上げるよう努めます。
- ・ 前例にとらわれず、常に業務を点検しながら見直しを図ります。

【取組事項】

- 予算化された事業であっても、「予算の残し方事例集」等を活用し、徹底的な経費の縮減に努めます。
- 事務用品の在庫管理の徹底・再利用の促進による事務用品購入経費の削減、両面コピーや縮小コピーなどの活用によるコピー使用枚数の削減などにより、経費節減を徹底します。
- 職員の時間管理意識の徹底や中長期毎の目標設定による計画的な事務の執行、管理職員による組織マネジメント、職場内での工夫による業務の効率化等により、時間外勤務を縮減します。
- リユースボックスにある文房具から使用し極力新品の購入を差し控えるなど、資源の再活用に努め、職員一人一人における「公金意識の徹底」に努めます。
- 仕事・会議・時間・スペース・経費等について「ムダの発見・排除」を実施します。

3 県職員としての自覚を高め、質の高い行政サービスを提供します。

- ・ 専門的な能力・知識と、幅広いものの見方・考え方の修得に努めます。
- ・ 法的根拠や仕組みを理解し、迅速・丁寧な業務を進めます。

【取組事項】

- より質の高い現代陶芸の芸術文化を提供するため、学芸員がテーマをもって日々取り組む作品研究や情報収集を積み重ね、その成果を企画展覧会開催（テーマ・手法等）や教育普及活動、または作品収集活動に活かします。
- 職員が、業務に関連した研修会等に一回以上参加して専門的能力・知識を習得するなど、常に自己研鑽に努めます。
- 新聞やインターネットなどから、国の動向や他県の先進事例等について積極的に情報収集を行い迅速かつ効果的な事業の執行に役立てます。

4 常に危機に備える意識を持ち、事故や不祥事を防止します。

- ・ マニュアルを整備するなど、日頃からのチェック体制を確立します。
- ・ どのような情報にも細心の注意を払い、組織としていち早く対応します。

【取組事項】

- 各種危機管理マニュアルを参考にしながら、想定される事案ごとに連絡方法や役割分担を定めるなど、所属内の危機管理体制を整備します。
- あらゆる情報に常に細心の注意を払い、いち早く不祥事等の危機を察知し、上司への迅速な状況報告と適切な対応により問題発生を未然に防止します。

5 問題発生時には、事実をありのままに公表し、迅速かつ誠実に対応します。

- ・ 正確な情報の把握・公表に努め、責任の所在を明確にした上で問題の拡大を防ぎます。
- ・ 徹底した原因究明を行い、適切な再発防止策を講じます。

【取組事項】

- 問題発生時には、所属長の統一的な指揮のもと、速やかな情報収集・報告・分析や、応急対策（被害の拡大防止、2次災害の防止等）の実施等に当たります。

6 職員が一丸となって、風通しのよい組織風土をつくります。

- ・ 自分の職責にとらわれず、知恵を出し合い、自由な議論ができる職場をつくります。
- ・ 不都合な情報こそ速やかに包み隠さず明らかにできる組織をつくります。

【取組事項】

- 月1回定期的に開催される職員全体会議及び学芸会議において、業務の進捗状況等について職員間の情報共有を図り課題やその解決方法等について自由闊達な議論を行います。
- 業務をすすめる上で有益な情報等はメールで職員全員へ発信するなど、情報共有に努めます。
- 良い情報はもとより、不都合な情報こそ上司への報告を速やかに行うとともに、管理職員による組織マネジメントにより、「上司に悪い情報の上げやすい」職場の雰囲気作りに努めます。

7 県民のひとりとして、積極的に地域や社会に貢献します。

- ・ 地域での活動に積極的に参加します。
- ・ 環境問題などの社会を取り巻く身近な課題に率先して取り組みます。

【取組事項】

- 職員が地域活動等（地元の消防団や自治会等の地域活動、ボランティア活動等）に参加して積極的な地域貢献に努め、それを通して得た「ひとりの県民としての目線」を日々の業務にフィードバックします。
- 事務事業の見直しによる仕事量の削減、内部事務の効率化による業務改革、各所属に対する時間管理意識の徹底などにより、恒常化している時間外勤務を縮減するとともに、年次休暇等の取得日数を増加させ、職員が地域活動等に参加しやすい環境づくりに取り組みます。

8 県民との対話を大切にし、県民とともに「確かな明日の見えるふるさと岐阜県づくり」に取り組みます。

- ・ 県政全般にわたる情報を分かりやすく、積極的に公開します。
- ・ 積極的に現場に出かけ、県民の意見や考えをお聴きし、政策・施策に活かします。

【取組事項】

- ホームページやマスコミなどあらゆる広報媒体を活用し、美術館の事業取組を広く紹介するほかホームページのメーリングリストにより県民をはじめ一般も皆様の意見・要望を適時把握し、事業の展開に活かしていきます。
- 「現場主義」と「対話重視」を基本に、ギャラリートークにおいても単に解説のみではなく、観覧者の目線にたって、例えば歩きながらでも会話をして頂き「楽しかった」と思ってもらえるよう運営していきます。
- 入館者アンケートや受付において見に来たお客様の意見を積極的に聴取し、以降の展覧会開催に活かして参ります。

